

今年もありがとうございました！ みんなで元気に新しい年を迎えましょう！

# 2020年尾北民商10大ニュース！

## 1. すべての自治体で振興条例が制定！

2018年10月の「犬山市産業振興条例」を皮切りに、今年10月には「扶桑町産業かがやき条例」が施行され、この2年間で犬山市、江南市、大口町、岩倉市、扶桑町（制定順）すべての自治体で振興条例が制定されました。小規模事業者への振興を法的拘束力を持って推進させようとの、民商の長年の働きかけの成果です。

また条例により設置される振興会議への尾北民商からの参加も、犬山市産業振興会議には山下副会長が、江南市中小企業振興会議には兼松事務局長が、扶桑町産業振興会議には、千田会長が選任されました。

## 2. 新型コロナ感染拡大で会員の営業被害も深刻に！

今年は過去に例のない深刻な感染症問題が発生し、いまだに終息の兆しを見せていません。全国的に消費が抑制され、多くの業者が悲鳴を上げています。自粛要請で店を一時休業せざるを得なかった飲食業の人、資材輸入が止まって仕事ができなくなった建設業の人もあります。

尾北民商はこの問題について緊急アンケートを行い、業者の営業と生活を守るために闘ってきました。

## 3. 会員の55.5%が持続化給付金を申請！

**298件の決定で総額3億4千万円の実行！**

政府や自治体の緊急対策の対象になりながら申請しそびれてしまう人が出ないように、今年、民商は会員読者の皆さんに強く呼びかけ、多くの相談を受けました。持続化給付金、地代家賃支援給付金、自粛要請協力金などの受給結果につなげています。

また民商は今後も、各種給付金の延長と再給付を求めて活動を続けます。

## 4. 重税反対全国統一行動が支部代表参加に！

3月13日(金)の午前に、民商の代表が、他の民主団体の代表とも合流し、小牧税務署で重税反対全国統一行動を、縮小して行いました。

今年は小牧駅東広場での集会・デモ行進を中止し、申告書の提出は、支部ごとに代表の役員が行いました。

## 5. コロナ禍でも小牧税務署請願行動！

尾北民商は記名・押印した請願書を会員の皆さんから託してもらい、9月15日(火)に、小牧税務署請願行動を行いました。

尾北民商全体で合計358人分（会員の65.6%分）を、

それぞれの支部の代表が税務署に提出しました。

## 6. 消費税減税・インボイス反対署名1227人分を国会へ提出！

民商は、営業規模が小さい事業者ほど納税負担が増す消費税の減税と、免税事業者の商取引からの排除につながるインボイス制度への反対運動を続けています。

今年は民商ロゴ入り記念ボールペンも用意して署名運動を行い、4月には「消費税5%への減税とインボイス廃止を求める署名」1227人分を国会に提出しました。

## 7. 国保税コロナ減免と市町への交渉！

県の提示する標準保険料率による市町の国保税値上げの動きが強まっている中、尾北民商は今年も各自治体への要望・懇談などで、所得階層が低くなるほど滞納が深刻になりやすい国保税の値上げ反対、独自基準の減免による低所得者層の支援を求めて声を上げています。

また民商では、今年コロナ禍で収入が急減した人の為の、特例減免の申請についても相談を受けています。

## 8. 共済会からすべての加入者に消毒液を配布！

新型コロナウイルス感染症が流行する中、仲間たちの命と健康を守るためにできる事をと、尾北民商共済会からは、すべての加入者に消毒液を配布しました。

## 9. 婦人部が業者婦人と心つなぐ運動！

尾北民商婦人部は業者婦人の生活実態を把握すべく、アンケートを行いました。コロナ禍の影響で、58人中25人が仕事の減少、12人が精神的な不安を訴えるなど、業者婦人の健康悪化も明らかになっています。

また婦人部では例年花配りを行っていますが、岩倉婦人部では今年は部員に布マスクを配布しました。

## 10. 集団検診で異常なしは2.9%！

尾北民商共済会主催の集団検診で「要精密検査」「受診勧奨」が合わせて69%を超えました。68人が受診した内「異常なし」は2人だけでした。

# 尾北民商

## ニュース

2020年  
12月21日号

TEL 0587-54-0524  
FAX 0587-54-1390



1月12日 共済婦人バスハイク



3・13行動。各支部から代表役員が、代表申告を行う。



9・5請願行動。尾北から代表17人が参加。